

みんなが  
さつごつもつと  
いい町へ

# マスタ

## 議会だより



7 予算特別委員会審査  
20 住民と議会との懇談会

### 毎日にぎやか みさとの大家族

高橋 学さん一家 (本堂中部)

第 55 号  
2018.4.15

定例会概要	2
当初予算概要	4
一般質問	12
研修報告	17
所管事務調査	18
キラリ美郷	24



# 第2次総合計画の着実な推進に向けて

## 一般会計予算 113億円1389万2千円 前年比4.3%増

### 「ひとづくり」に主眼を置いた 新たな視点



活力創出プロジェクト  
(大田フェスタ)



豊かさ実感プロジェクト(ホオノキの植樹)



交流促進プロジェクト  
(タイ王国文化展)



快適実感プロジェクト(道路舗装工事)

3月定例会を3月1日から19日までの19日間の会期で開きました。審議した内容は、平成30年度一般会計予算など25議案と、人事案件に対する同意。その全てを、原案のとおりに可決・同意しました。  
一般質問は、4議員が登壇して町政を質しました。請願・陳情は2件を採択し、意見書を関係機関に提出しました。

**ま**ちづくりの将来像に「いやしの郷・にぎわいの郷・豊かさを実感できるまち美郷」を掲げ、平成27年度にスタートした「第2次美郷町総合計画」も中間の年となりました。この計画では将来の美郷町のために、特に重点的に取り組む施策を「みさとリーディングプロジェクト」として位置づけ、計画的に実行してきました。プロジェクトは次の4分野に分かれ、平成30年度も各課が連携して実施します。

◎「環境保全」と「福祉向上」で、豊かさ実感できるまち

◎「生活基盤整備」と「安全安心確保」で、快適に暮らせるまち

◎「ひとづくり」と「モノづくり」で、活力が生まれるまち

◎「ひとの集い」と「ひとのふれあい」で、人がつながるまち

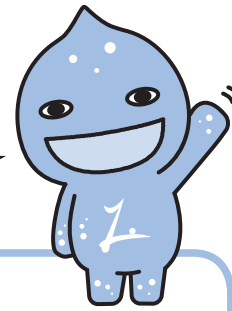
**今**定例会では、この4プロジェクト事業が含まれた一般会計113億1389万2千円、4特別会計と水道事業会計の合計35億9801万8千円となる平成30年度当初予算を全体質疑し、予算特別委員会に審査を付託しました。

**議**会最終日、予算特別委員会委員長（熊谷隆一 副議長）の審査報告のあと採決した結果、一般会計予算と後期高齢者医療特別会計は賛成多数（賛成14人・反対1人）、国民健康保険・下水道事業・農業集落排水事業特別会計および水道事業会計は全員賛成で原案のとおり可決しました。



# 町の子算を家計に例えると・・・

平成30年度一般会計予算  
113億1389万2千円を年収500万円の  
家計に例えてみたよ



## 収入

		家計簿 (構成割合)	30年度予算額 (前年比)
給与	うち基本給(町税)	626,000円 (12.52%)	141,680万円 (2.35%)
	うち諸手当(分担金・負担金)	2,000円 (0.04%)	419万円 (△32.74%)
パート収入(使用料、手数料など)		91,000円 (1.82%)	20,661万円 (△3.84%)
親からの仕送り	国庫・県支出金など	841,000円 (16.82%)	190,274万円 (3.13%)
	地方交付税	2,470,000円 (49.40%)	558,715万円 (0.17%)
貯金の取り崩し(繰入金)		242,000円 (4.84%)	54,734万円 (96.72%)
借金(町債)		490,000円 (9.80%)	110,990万円 (6.53%)
その他(諸収入、返済金等)		238,000円 (4.76%)	53,916万円 (8.95%)
合計		5,000,000円 (100%)	1,131,389万円 (4.34%)

### 貯金残高



家計簿	30年度予算額 (前年比)
2,402,000円	581,424万円 (1.29%)

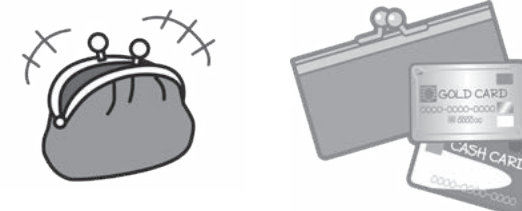
いろんな事業に力を入れるために、補助金などを多めに用意しているね。借金は頑張って返し続けていて、毎年小さくなり続けているよ。



## 支出

		家計簿 (構成割合)	30年度予算額 (前年比)
食費(人件費)		747,000円 (14.94%)	168,924万円 (△1.17%)
医療費(扶助費)		445,300円 (8.91%)	100,765万円 (4.27%)
借金の返済(公債費)		573,000円 (11.46%)	129,700万円 (13.33%)
光熱費等(物件費・補助費)		2,226,000円 (44.52%)	503,784万円 (△0.05%)
家の増改築や修理費(普通建設事業費)		625,000円 (12.50%)	141,447万円 (19.67%)
子どもたちへの仕送り(繰出金)		303,000円 (6.06%)	68,611万円 (8.57%)
積立金		5,700円 (0.11%)	1,287千円 (94.41%)
その他(貸付金・災害復旧費等)		75,000円 (1.50%)	16,871万円 (4.10%)
合計		5,000,000円 (100%)	1,131,389万円 (100%) (4.34%)

### 借入金残高



家計簿	30年度予算額 (前年比)
4,164,000円	942,278万円 (△8.48%)

# 予算編成の方針を問う

## 一般会計予算

留保財源は5億円

深沢(義)議員 留保財源のおよその額とその考え方は。余剰分は基金の積み立てや繰り上げ償還ということもあるか。

企画財政課長 留保財源は約5億円を見込んでいる。補正予算編成の財源となるものである。余剰分は次年度の財政運営を円滑にするために基金への積み増しや繰り上げ償還をすることがある。

## 統一セクションの編成は

熊谷(隆)議員 大田区との交流は商工観光交流課と農政課に分かれて事業が行われているが、将来的には統一セクションの編成を検討した方がいいのではないか。

町長 現在はそれぞれの内容によって所管課が対応している。統一するという考え方もあるが、専門の分野の知識とネットワークがあることで事業を円滑に展開できることもあるので、現段階では統一する考えはない。

## トップセールスの成果は

村田議員 台湾へトップセールスを行った成果や30年度期待される効果、進捗予想と目標は。

商工観光交流課長 美郷町・大仙市・仙北市の3市町で行っているインバウンドサイクリングコース活用事業の一環として行われたもので、台湾の各旅行業者を訪問し、コースの売り込みを行った。台湾の方々には興味を示していた。30年度は台湾の旅行博覧会でブース展示を行う予定である。サイクリン

グコースに来ていただくことを目標としているため、台湾人向けのパンフレットの作成や、案内看板の設置を進めている。

## ひとつづくりの具体的な事業は

小原議員 ひとつづくりの視点を踏まえ、交流に資する産業振興と地域振興に関する取り組みに積極的に財源配分をするということだったが、具体的にどのような施策に財源配分するのか。

町長 産業振興については、産業大使を新た

## 空き店舗への補助金は

小原議員 まちなかエリア活性化推進事業では、空き店舗に補助金が出るということだが、交付要綱等は決まっているか。

商工観光交流課長 交付要綱は内部で検討しており、補助額と補助率は決まっている。予算では存置項目(※)としており、申請があった際は議会に諮る。

## 株式購入は必要か

藤原議員 六郷まちづくり(株)の権利購入はどのような考えのもとで行われるのか。

商工観光交流課長 株式購入について六郷まちづくり(株)から依頼を受けており、町外への株式の流出を懸念することによる。また、ニコサイダー等、町の特産品に関わっているため、町と密接に連携していく上では必要である。

## 予算特別委員会審査

予算特別委員会に付託された平成30年度一般・特別・水道事業会計予算を、3月8・9日に審査しました。採決の結果、一般会計と後期高齢者医療特別会計は賛成多数(賛成12・反対1)で、国民健康保険・下水道事業・農業集落排水事業特別会計、水道事業会計は出席者全員賛成で可決と報告すべきものとなりました。その審査内容について、主なものを要約してお伝えします。

## 一般会計予算

### 歳入

町税 小原委員 町民税の推計にあたり、農業所得が増えると考える根拠は。

税務課長 29年度の作況指数は「やや不良」だったが、米価が上昇しているため、農業所得は前年度当初見込みよりも1億5千万円増えると推計した。

小原委員 固定資産税が前年度より約340万円減少した理由は。税務課長 30年度に評価替えが行われるため

の調査結果で、地価が下がったため。

細井委員 軽自動車税の滞納件数とその対策は。

税務課長 滞納は311台である。廃車手続きが正しくされていなかったなどの状況を調べ、手続きをしてもらうように指導している。

### 地方交付税

村田委員 保育所に障がい児等を受け入れた自治体には地方交付税が増額されると聞いたが。

企画財政課長 国全体で障がい児保育にかけ経費を倍増させる計画があるが、当町への

影響はまだ分からない。

### 寄付金

深沢(義)委員 指定寄付金(1230万円)の算定根拠は。

企画財政課長 ふるさと納税(ふるさと美郷応援寄付金)の1200万円については、29年度実績見込みの約75%を計上した。企業版ふるさと納税(地方創生応援寄付金)は、3企業から10万円と想定して30万円を計上した。

### 諸収入

熊谷(良)委員 サテライト六郷からの配当金や地元対策負担金はどうなっているか。

商工観光交流課長 配当金額は株主総会による決議事項であり、現段階では確定していない。地元対策負担金は、リース売上の0・5%が町に入る。

町債 村田委員 町債が前年度より6800万円増えているが、その主な理由は。

企画財政課長 合併特例債、過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債のうち、過疎対策事業債が約3億円と大きく増加した。その内訳は、経営体育成基盤整備事業に対する負担金、総合体育館リオスの改修費、老朽化が進む町





### 歳出

有施設の改修費など。

**小原委員** 地方債の借り入れは、公債費の元金を越えない範囲で行うという基本方針があったはず。約11億円の起債額は多くないか。

**企画財政課長** 合併特例債、過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債は、いずれも年度内に7割以上が交付税に算入される有利な起債であり、出来るだけ活用したい。

### 総務費

**泉委員** 交通指導隊員制服の購入費(95万2千円)は何人分か。

**住民生活課長** 17人分である。

**泉委員** カーブミラーの購入費(17万6千円)は何基分か。

**住民生活課長** 設置する数は決まっていない。カーブミラーの価格は、サイズによって違う。

**小原委員** 期日前投票の期間が、投票所によって違う。期間を統一して長期間行うことはできないか。また、スパーなど公共施設以外で期日前投票を行う考えはあるか。

**総務課長** 職員や立会人を派遣する関係から期間を延ばすことは難しい。

しい。また、二重投票を防ぐ仕組みの構築が難しいため、現段階では投票所を増やす考えはない。

### 民生費

**細井委員** 福祉センター管理費補助金(33万8千円)は、社会福祉協議会からの要望によるものか。

**福祉保健課長** 建物を維持管理する経費について、社会福祉協議会から要望のあった内容を精査した上で計上している。

いて、社会福祉協議会から要望のあった内容を精査した上で計上している。

**村田委員** 介護給付訓練等給付費(4億8781万4千円)が増加している理由は、

**福祉保健課長** 義足や人工肛門などの装置を使う障がい者に給付するため予算だが、利用者が増えており前年度より4千万円ほど膨らんでいる。

らんでいる。

**泉委員** 金婚式の食糧費がなくなることで、88歳の長寿祝い金を減額する理由は、

**福祉保健課長** これらは近隣の市町村も減らしていく傾向にあり、事業内容を精査した上で減額することにした。

**泉委員** 軽度生活援助事業費(668万4千円)が減った理由は、

**福祉保健課長** 29年度に年170人の利用があるが見込んで予算を計上したが、実際の申込者数は45人だった。30年度の予算では、利用者数を70人と見積もった。

**泉委員** 大仙美郷介護福祉組合負担金の一部は、特別養護老人ホーム真昼荘の改修に使われるとのことだが、その内容は、



増床工事を行う真昼荘

### 農林水産業費

**深沢(義)委員** 多面的機能支払交付金事業に取り組んでいない農地はどれくらいあるか。

**農政課長** 取り組まれている地域は、土地面積で約1100ha(約18%)である。

**森元委員** 七滝山の保全整備事業に関する全体的なイメージは、

**農政課長** 七滝山の針広混交林化を進めていくにあたり、別ルート

からの林道整備が必要になる。30年度予算には、林道整備にかかる測量調査委託料を計上した。

### 商工費

**小原委員** まちなかエリア活性化事業補助金が存置項目(1千円)となつているが、事業の全体的な構想とアクションプランはどうなっているか。

**商工観光交流課長** 構想とアクションプラン

を3月中に示した後、空き地や空き店舗を所有する方々に内容を詳しく説明する。補助申請があれば30年度の補正予算に計上したい。

**小原委員** 外国人サイクリストを「みずほの里ロード」に呼び込む事業の全体的な計画は、

**商工観光交流課長** 事業は大仙市・仙北市との3市町合同で行う。事業費の負担割合は3分の1ずつ。美郷町の総事業費は3年間で3700万円。誘客の目標数値は年間1000人に置いている。

**藤原委員** 公有財産購入費(600万円)は、六郷まちづくり(株)の株式を取得するための予算だと聞いたが、その詳細は、

**商工観光交流課長** 額面どおりの金額で買い取る予算を計上した。国税庁による未公開株式の評価方法と、個人間の売買金額を参考にしている。

### 土木費

**森元委員** 浄化槽設置整備事業補助金について、30年度も70基の設置を見込むとなつているが、今後の計画は、

**建設課長** 合併浄化槽の新設状況は、27年度が53基、28年度が51基、29年度が35基となっている。水酸化されているのは全体の8割程度である。下水道サービスが提供されている地域以外では、これから

**福祉保健課長** 入所者を増やすため、デイサービスとショートステイを廃止し、ベッド数を増やす改修工事を行う。

### 衛生費

**泉委員** がん患者補正具購入費補助金(30万円)と、県にもある同様の補助制度との兼ね合いは、

**福祉保健課長** 県の補助制度に町でかさ上げして補助する。

**深澤(均)委員** 永田萌さんがデザインする「虫歯のない子表彰状」台紙の作成委託料の内訳は、

**福祉保健課長** コンセプト代とデザイン代、400セット分の印刷代となつている。

も合併浄化槽で対応してもらふことになる。

### 教育費

**深沢(義)委員** タイ王国中学生交流事業補助金について、タイのノンタブリー県と交流する時期と人数は、

**教育推進課長** タイへ行くのは8月中旬、10人程度で5泊6日の予定。タイからも10人程度を受け入れる予定。

**小原委員** 小学校無線アクセスポイント整備工事(558万6千円)に、これだけの金額がかかる理由は、

**教育総務課長** これは3小学校合わせた金額である。教室間を結ぶネットワークは、LANケーブルを使って構築する。

**深沢(義)委員** サイクルチャレンジカップ美

**細井委員** 学校給食費に関してだが、材料における美郷町内産の使用割合は、

**教育総務課長** 野菜等15品目の重量割合は、28年度実績で52・4%となつており、県目標の42%を大きく上回っている。米は全て町内産である。



外国人サイクリストを「みずほの里ロード」へ



国民健康保険  
特別会計

泉委員 小中学生の医療費を無料化していることによる国からの調整交付金の減額はいくらか。

福祉保健課長 およそ980万円である。その半分は福祉医療基盤強化補助金として県から補助される。

後期高齢者医療  
特別会計

泉議員 歳入の保険料が2千万円ほど増えたのはなぜか。

福祉保健課長 後期高齢者の人数が増え、所得の高い方もわずかに増えた。軽減措置が見直されたことにより約600人の方が影響を受けたことも関係している。

水道事業会計

細井議員 水道メーターの使用期限の管理は適切か。

建設課長 メーターの使用年限は8年と定められている。今年度の更新予定は545基。メーターは個別に管理している。

森元議員 29年度よりも支出に対する収入の不足額が3千万円ほど増えた理由は。

建設課長 企業債償還金が580万円ほど、工費費が2520万円ほど増加したためである。

30年度一般会計予算  
反対討論

泉議員 国の地方財政計画は社会保障を削減し、公的サービスの産業化の下、行政サービスの縮小、公営企業の広域化、公共施設の統廃合を一層推進するものである。町の新年度予算案はこれに基づいたものであるため反対する。また、長寿祝い金の減額や金婚式の見直しなどにも反対する。

賛成討論

鈴木(良)議員 地方交付税は平成27年度から漸減期間に入っているが、減債基金の繰り入れによる繰上償還を予算化するなど、プライマリーバランスに配慮したものであり賛成する。歳出においては、人口減少への対応を意識しながら賑わいのあるまちづくりを目指した予算案となっております。

30年度後期高齢者医療特別会計予算  
反対討論

泉議員 新年度からの保険料は現行のまま据え置かれたが、保険料特例軽減措置廃止など軽減制度の改正の影響により保険料の負担増となる加入者が増えることになると、この予算案には反対する。

条例・補正予算質疑

一般会計補正予算で  
5億3700万円を繰上償還

3月定例会に上程された議案中、条例・補正予算について、質疑・討論・採決を行いました。以下、主な議案の内容と質疑を要約してお伝えします。

平成29年度一般会計補正予算

内容 歳入歳出にそれぞれ1億1546万2千円を追加し、総額を114億7199万9千円とした。主な内容は、各事業費の確定や実績見込みによる減額増額は、薬用植物栽培推進基金への積み立て、繰上償還元金の追加など。

美郷町手数料条例の一部改正

内容 美郷町手数料条例において砂利等の項の手数料を改正するものである。

村田議員 砂利等の採取申請手数料の発生は年間何件か。また、採取場所に特別な制限があるか。

反対討論

建設課長 過去の実績を確認したところ、1件の申請もない。今後申請があった場合の許可する基準だが、砂利の採取が他人に危害を及ぼさないか、搬出する道路堤防等を損傷する恐れがないかを確認しているが、県と事前協議をした上で認可の是非を決定する。

賛成討論

鈴木(良)議員 地方交付税は平成27年度から漸減期間に入っているが、減債基金の繰り入れによる繰上償還を予算化するなど、プライマリーバランスに配慮したものであり賛成する。歳出においては、人口減少への対応を意識しながら賑わいのあるまちづくりを目指した予算案となっております。

30年度後期高齢者医療特別会計予算  
反対討論

泉議員 新年度からの保険料は現行のまま据え置かれたが、保険料特例軽減措置廃止など軽減制度の改正の影響により保険料の負担増となる加入者が増えることになると、この予算案には反対する。

採決結果

採決で賛否が分かれた議案等を掲載しています。議長は採決には加わりません。

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	議決結果	
議員名	深沢 義一	小原 正彦	鈴木 正洋	内田 清文	泉 美和子	森元 淑雄	高山 茂雄	細井 邦男	熊谷 良夫	伊藤 福章	鈴木 良勝	村田 薫	藤原 政春	深澤 均	熊谷 隆一	澁谷 俊二		
◎平成30年第4回議会定例会 (3/1~3/19)																		
議案第23号 平成30年度美郷町一般会計予算																		
	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号 平成30年度美郷町後期高齢者医療特別会計予算																		
	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

美郷町地販地消・地産外商推進条例の一部改正

内容 広く消費者に支持される美郷ブランドを確立し、地産地消・地産外商のより一層の推進を図るために、所要の規定を改正するものである。

美郷町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

内容 持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の規定を改正するものである。

美郷町税条例の一部改正

内容 特定非営利活動法人凍々会の解散に伴い、寄付金税額控除の規定を改正するものである。

美郷町国民健康保険条例の一部改正

内容 国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、所要の規定を改正するものである。

美郷町宿泊交流館の設置および管理に関する条例の一部改正

内容 美郷町宿泊交流館にトレーニング室を設置するために、所要の規定を改正するものである。

深澤(均)議員 トレーニング室の設置は宿泊交流館に宿泊する団体と住民の健康維持とい

建設課長

過去の実績を確認したところ、1件の申請もない。今後申請があった場合の許可する基準だが、砂利の採取が他人に危害を及ぼさないか、搬出する道路堤防等を損傷する恐れがないかを確認しているが、県と事前協議をした上で認可の是非を決定する。

生涯学習課長

運営方法は指定管理者である美郷温泉振興(株)と調整することとしている。トレーニング機器の使用

方法や効果等は事前に講習会を開かなければならないと考えているが、指導者を置くことは難しい。年齢制限については、調査してみたが、低年齢に負担をかけるのは悪影響と

思う。深澤(均)議員 他町村から来る方もいると思うが、町民との利用額の差は検討したか。町民には安く設定してもいいのではないか。



# 4議員が 6項目を質す

ただ

## 質問者

泉 美和子 議員

- ◇ 雪対策について
- ◇ 生活保護基準の引き下げの影響について

深澤 均 議員

- ◇ 少子化の現状と対策について
- ◇ 児童生徒の学校生活について

内田 清文 議員

- ◇ 「ひとづくり」について

鈴木 正洋 議員

- ◇ サン・アールのプールの天井に大小島真木さんから巨大な絵画を描いてもらってはどうか

### 一般質問とは？

一般質問は、年4回の議会定例会において行われます。議題とは関係なく、行財政全般にわたる議員主導による政策論議であるため、通告制が採用されています。通告（質問の届け出）は、議員個人の判断によります。

3月14日の本会議において一般質問が行われ、4議員が6項目について質問を行いました。以下、質問・答弁の内容を要約してお伝えします。

# 排雪専門班の設置は

## 町長 現実的に難しい



泉 美和子 議員

**議員** 交差点や歩道の安全を確保するため、雪の壁などを排雪する専門班を編成すべきでないか。また、大仙市の住宅リフォーム支援事業のような、住宅敷地内における消雪融雪設備の導入工事に対する助成は検討しているか。

る。もしも、今後こうした降雪状況になった際には関係諸団体を通じて、ドライバーや歩行者への注意喚起に努める。また、住民各位のご協力のもと、共助の精神による除雪協力をいただけるのであればありがたい。

**美郷町住宅リフォーム緊急支援事業**については、住宅のリフォームから離れる外構工事や消雪融雪工事は対象外となっているが、県の安全安心な雪下ろし支援事業では、作業の安全を確保するための工事等と組み合わせることにより、消雪融雪設備の工事に対しても補助がある。町としては、住宅リフォーム緊急支援事業に同様の仕組みの追加を検討したいと考えている。



# 生活保護基準の引き下げへの認識は

## 町長 制度を担保したい国の意向を感じる

**議員** 生活保護基準引き下げは低所得者に対する様々な施策に影響を及ぼすが、どのように認識しているか。また、今年10月からの引き下げはやめるよう国に求めるべきでないか。

**町長** 今回の改正案では、大学等進学支援の追加や児童養育加算では支給対象を中学生から高校生まで拡大するほか、小中高生への入学準備金やクラブ活動への実費支給について充実する内容となっている。母子加算は子どものいる家庭の消費実態を分析して見直され、平均的な加算額は減額が見込まれているが、全体としては支援内容が拡充される部分もあるため、健康で文化的な最低限度の生活について長い期間担保したいという国の意向を感じる。また、国への働きかけについては、現在審議中の法案であ

るため直接的に行う時期ではないと考える。

**議員** 準要保護者への就学援助を拡大するよう求めるが、教育長の見解をうかがう。

**教育長** 就学援助を現行の1・3倍からさらに拡大できないかということについて、平成29年の調査結果によると、県内では本町を含め9自治体で最大倍率の1・3倍であった。こうした現状を踏まえ現在の倍率をさらに引き上げることは考えていない。



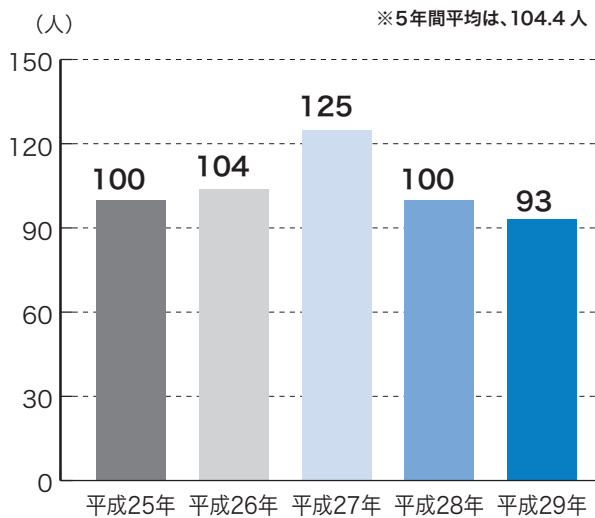
# 少子化の進行にどう対応

## 町長 各般の取り組みを続けていく

**議員** 第2次総合計画の「行動計画（後期）」にある「子育て世代が安心して子どもを産み育てられる環境」とは、具体的にどのような環境を想定しているか。また、美郷町における少子化を前提とした政策とは、どのようなものが考えられるか。

少子化を前提にした町の取り組みについてだが、少子化だけでなく、高齢化の進行、人口の減少も前提とした対応が求められ、国、都道府県、市町村の担うことがそれぞれあると考える。少子化が進行し社会活動に大きなひずみが生ずる前に、さまざまな立場の方々と議論し、早期に町全体としての具体策を構築、展開することが肝要と認識している。

美郷町出生数の推移



# 児童生徒の問題行動の調査結果は

## 教育長 公開は慎重に

**議員** 町内の小中学校における児童生徒の問題行動の件数についてうかがう。また、その調査結果は公表されているのか。情報を公開し共有することが問題の解決につながると思うが、見解をうかがう。

**教育長** 27年度より認知基準が変わり、児童生徒が他人の行為によって心身の苦痛を感じたと訴えたものは、全ていじめとすることに決めた。美郷町においては、小学校は27年度が165件、28年度が59件、中学校は27年度が9件、28年度が7件となっている。全て指導により早期に解決しており、重大な事案に至ったものはない。不登校の児童生徒数だが、小学校は26年度が2人、27年度が4人、28年度が1人、中学校は26年度が11人、27年度が8人、28年度が12人となっている。千人当たりの不登校児童生徒数を全国平均と比較した場合、各分類のほとんどで水準を下回っている。

調査結果の公表は、町議会などで質問があった場合のみ説明するようにしている。公開にあたっては、当該の児童生徒への影響を考慮して、慎重に行わなければならない。



深澤 均 議員

# 「ひとづくり」が目指すものは

## 町長 柔軟な発想と行動力を持ってほしい

**議員** 第2次総合計画の「行動計画（後期）」では「ひとづくり」を含む事業が21事業ある。各般の事業では見えない町長の想いを答弁いただきたい。

「ひとづくり」に注力することになった経緯は、国の「まち・ひと・しごと創生」に呼応したものだと思うが、この取り組みを美郷町にどう活かしていくのか。また「ひとづくり」で可能となる美郷町はどのようなものを想像しているか。

は担い手不足であり人材育成が必要であるとの意見をいただいた。「ひとづくり」事業はそこからスタートしており地方創生より半年ほど早い。従って施策意義は重なるところもあるが、財政的にはほぼ無関係のものである。後期の行動計画では水環境や地域福祉に意識と協力を深める取り組みや、多様な分野や国際環境に興味を深める取り組み、産業振興に意欲を高める取り組みなどを通じ、心を育むことに注力することとしている。こうした取り組みを通じ物事を深く捉え、柔軟に発想し迅速に行動できる人が増えていってほしい。美郷町で何か困難が



内田 清文 議員

**町長** 美郷総合計画審議会において、美郷町

生じて、官民一体となつて解決に向けた取り組みが可能となることを期待するものである。

**議員** ひとづくりといえば、一般に若者がイメージされるわけだが、具体的にこの町にどのような若者が必要だと考え、期待するか。

**町長** 若者の特権を行使する人が増えることを期待する。若者の特権とは、自分の考えを聞き、他者の意見を聞きつつ柔軟な発想と新鮮な感性を発揮し、積極的な行動ができることだと考える。いつの世も若い感性を持った若者がまず動く、そこから地域社会の発展が図れると思う。美郷町



夜市のPR活動中



## 3月定例会 請願・陳情

採択し、意見書を提出しました

◇陳情第7号 核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書採択についての陳情

秋田県原爆被害者団体協議会 会長 照井 喜代治

◇陳情第13号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情

秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 渋谷 一  
秋田県労働組合総連合 議長 三浦 宣人

### 議会運営委員会視察研修報告

(3月22・23日)

議会運営委員会は、美郷町議会として初めて視察研修を行いました。県内にある町村の中では、先進的な議会改革に取り組んでいる八峰町議会と大潟村議会を訪問しました。

八峰町議会では、議会改革の一環としてIT化を進めるために、28年4月からタブレット端末の導入に向けて議論を重ねてきました。29年12月に、議員・当局合わせて38台を導入し、現在、活用しています。導入のメリットとして、議員に提供される資料が瞬時に配布できること、予算書、議案書、議事録など大量のデータを格納できること、事務局と議員の間の連絡調整が容易であることなどの説明を受けました。当議会でも、導入の検討が必要かと思われる。



八峰町議会での研修

■八峰町議会  
タブレット端末導入の成果は

■大潟村議会  
不断の議会改革

大潟村議会では、平成6年に議会改革調査特別委員会を設置し、以来その時々のテーマに従って研修、議論を重ねてきています。これまで、議員定数の見直し、議員報酬の額、議会基本条例制定、質疑や一般質問の明確なルール作りなどが行われました。大潟村議会でも29年からタブレット端末が導入されています。改革に取り組む不断の姿勢には、学ぶところが多くありました。

## サン・アールのプール天井に 大小島真木さんの絵を描いては

### 町長 現実的に不可能

議員 サン・アールの利用者を増やすため、画家の大小島真木さんからプールの天井に大きな絵を描いてもらってはどうか。  
大小島さんが美郷中学校で描いた壁画は、水と命をテーマにした素晴らしい作品だった。その生命力あふれる絵を眺めながら、仰向けでゆつくりと泳げるプールがあれば、最高のリラクゼーション空間になるはず。プロジェクトを組ませれば、世界に類のないプールとして、きっと大きな話題となるだろう。大小島さんの作品は、仙南小学校にもあ



鈴木 正洋 議員



町長 サン・アールの

解をうかがう。  
る。しかし、いくら素晴らしい絵画であつても、それが学校の中にあるかぎり、一般人の目には触れない。プールの天井に絵画があれば、誰もが鑑賞できる上、格好の「インスタ映え」する素材として情報はSNSを通じて広く世界に発信される。国内外から人を呼び寄せる良い仕掛けとなるはずだ。この件に関して、町長の見

プールの天井面積は648㎡である。制作には、6年以上かかる。制作経費も約7700万円かかると見込まれる。年間のプールの利用者は、2万2000人を超えている。一般人利用者に加え、スポーツ少年団、中学校の体育の授業にも利用されており、長期の休業はできない。仮に休業すると利用料の収入減は、約4100万円が見込まれる。  
プールの天井の高さが約4mあり、高所での作業になることや、使用するアクリル絵の具の乾燥に長時間を要することなどを考えると不可能だ。  
今後、各学校にある大小島さんの壁画を学友館などで展示することは考えていきたい。



美郷中学校で制作中の大小島真木さん

※プロジェクションマッピング：建物などの立体物に映像を投影する最新技術。



### 所管事務調査 3 常任委員会 で実施

総務常任委員会は2月6日、産業建設常任委員会は2月7日、教育民生常任委員会は2月9日、それぞれ所管事務調査を実施し、担当課から説明を受けました。その概要と調査意見を要約してお伝えします。

#### 総務 常任委員会

##### 活力ある地域 づくりについて

伝統行事、地域活動、イベントなどの各種事業へ補助金を交付して



伝統行事「どんど焼き」

いる。天筆焼き、梵天奉納、盆踊り、グラウンドゴルフ大会、花いっぱい運動、夜市プロジェクト、出会いの場創出など。

##### ■調査意見

若者が少なくなっており伝統行事の継続が難しくなっている。補助金要項の見直しを含め、使い易いものにするべきである。

##### 地域活動拠点整備 事業について

行政区が活動拠点とする施設の整備に新築500万円、増築100万円の限度で補助金を交付して

いる。屋根塗装工事や外壁改修工事も対象となる。

##### ■調査意見

制度の内容が分かりにくい。使い方について、丁寧な説明が必要である。

##### 乗合タクシーに ついて

登録者数と運行率は共に増加している。

#### 産業建設 常任委員会

##### 有害鳥獣駆除の 状況について

29年度はクマ13頭を捕獲し、カラス86羽を駆除している。町では、狩猟免許取得に10万円を補助している。県は、銃取得に対して5〜7万円の補助をしている。

##### ■調査意見

鳥獣被害対策実施隊の隊員を増やすために、免許取得支援事業だけでなく、猟銃等の保管管理についても支援を検討すべきだ。

##### インバウンドサイ クリングコース活 用事業について

「みずほの里ロード」を外国人向けのサイクリングコースに整備して外国人観光客の増加を目指す。大仙市・仙北市・美郷町が連携して事業を行う。サイクリングが盛んな台湾とオーストラリア向けに日本語、英語、中国繁体語のパンフレットを作成し、誘致活動を展開していく。

##### ■調査意見

ツアーガイドの養成など、受け入れ体制の拡充に力を入れるべきだ。

##### 除雪車両の配置 と除雪体制の状況 について

除雪車73台で除雪を行っている。基本的には、午前1時30分から始め、7時まで完了するようにしている。今冬のように日中も降り続いた場合は必要に応じて作業をしている。

##### ■調査意見

今後もオペレーターの技術向上と育成、人材確保に努めて頂きたい。



導入された新しい除雪ドーザー

#### 教育民生 常任委員会

##### 学力の現状と 向上対策について

全国学力学習状況調査の結果を、教育指導の充実や学習状況の改善に役立てている。美郷町の小中学生は、国語の成績が全国平均を上回っている。

##### ■調査意見

家庭内の生活習慣が学力に影響を及ぼすこともあるため、生活指導にも力を入れてほしい。

##### 教職員の長時間労働 とメンタルケア の現状について

教員が授業に専念し

やすいように、ふるさとキャリア支援員を配置するなど、事務作業の軽減に努めている。教員のストレスチェックは年2回実施している。

##### ■調査意見

勤務時間の実態把握に努め、教職員の負担軽減に努めてほしい。部活動指導員の導入を進めてほしい。

##### 農観連携交流促進 施設整備の状況と 今後の利活用につ いて

佐藤家蔵の工事は31年度で完了する。1階はホールとして、2階は展示室とする。

坂本東嶽邸の工事も31年度で完了する。離れは迎賓館的な役割を持たせ、蔵は2階と併せて展示室とする。

#### 産業建設 常任委員会

##### 有害鳥獣駆除の 状況について

29年度はクマ13頭を捕獲し、カラス86羽を駆除している。町では、狩猟免許取得に10万円を補助している。県は、銃取得に対して5〜7万円の補助をしている。

##### ■調査意見

鳥獣被害対策実施隊の隊員を増やすために、免許取得支援事業だけでなく、猟銃等の保管管理についても支援を検討すべきだ。

工事は、農林水産省の補助事業として行われている。

##### ■調査意見

展示に工夫を凝らし、情報発信に力を入れて、集客に努めてほしい。

##### 介護保険制度と サービスについて

介護保険事業は大曲仙北広域市町村圏組合で行っている。町では地域50カ所くらいで認知症の予防事業を行っている。

##### ■調査意見

保険料の上昇を抑えるため、予防対策に力を入れてほしい。

##### 国民健康保険の都 道府県単位化の概 要について

制度の安定と強化のため、国民健康保険は、



所管事務調査の様子



# 第15回 住民と議会との懇談会

## 活発な意見交換

「住民に身近な議会」を目指して、「住民と議会との懇談会」を1月29、30、31日の3日間、町内9か所で開催しました。豪雪にも関わらず65人の参加をいただきました。以下、懇談会での発言の主なものに対する議会と町からの回答を要約してお伝えします。

議員の回答は、その場で答えた内容です。町の回答は、懇談会終了後に全議員が集まり、町に対する意見や要望を整理して町に提出し、町から回答を得た内容です。



第一晩

### ◆議員の回答

**住民** 「生葉の里 美郷」構想ではスポンサーが揃っているようだが、どのような試験栽培が行い、どういった効果が出てくるのか、将来農家の所得向上につながるのかチェックしてもらいたい。

**議員** 葉効成分の含有量の問題など、難しい状況だと感じている。米に代わる転作物と位置付けているが、まだまだ時間が掛かると思う。議会としても注視していきたい。

**住民** ラベンダー園や一丈木公園は、現状のままがいいと思っっているか。議員の発想でイベントを行う考えはないか。

**議員** ラベンダーまつりを中心に色々なイベントを行ってほしい。

**住民** 福祉センターから千畑小学校までの区間は、歩道除雪の時間が遅く、児童の登校時間に間に合わない。子どもたちが車道を歩いていて危ない。

### ◆町からの回答

**住民** 福祉センターから千畑小学校までの区間は、歩道除雪の時間が遅く、児童の登校時間に間に合わない。子どもたちが車道を歩いていて危ない。

**当局** この路線の歩道除雪は多数の要望があり、管理者である県にその都度要望してきた。今後も県に対して早急な対応を要望していく。

**住民** 交差点の角に積まれた雪を崩してもらいたい。ロータリーの稼働を増やしてほしい。

**当局** 町では車道用ロータリー6台、歩道用ロータリー10台を使い、道路拡幅除雪や各施設の排雪をフル稼働で実施してきたが、今冬の大雪で作業に支障をきたすこともあった。春先の雪山崩し作業を実施し交差点の見通し確保に努める。

ントが行われている。一丈木公園は住民の憩いの場として整備が必要だと考えている。

**住民** 堆肥センター(柳美郷の大地)という一企業に対して町からかなりの補助金が出ているが、見直しが必要ではないか。

**議員** 畜産業の推進と生葉の試験栽培など、町で直接出来ない部分を、第三セクターとして担ってもらっている。

**住民** 昨年、熊本に視察に行った目的と成果は。

**議員** 当町も陸羽地震のような直下型地震が発生する恐れがある。視察では、避難所での対応に当たる職員のストレスクアや、議会独自の対応の確立など、報道では知り得なかった多くの知見を得た。視察後、議会としての対応

保に努める。

**住民** 本覚寺の東角のT字路にカーブミラーを設置してほしい。

**当局** 現地確認の結果、必要と思われるので関係機関と協議の上設置する。

**住民** 住民以外の人が、ゴミを集積所に置いていく。指定の袋に入っていないなどの理由で、回収してもらえない。

**当局** 集積所の使用マナーに関する注意喚起の看板が必要な時は、町の住民生活課に相談してほしい。カギをかけて持込みを制限しているところもあるので、参考にしてほしい。

第15回

応マニュアルを作成した。

**住民** 旧六郷幼稚園の跡地利用は。  
**議員** 当面、中央体育館のイベント開催時の駐車場や雪置き場として使用すると聞いている。

**住民** 議員定数を16人に減らした理由は。

**議員** 町の人口減少を鑑み、議会で議論して決めた。

**住民** 自宅のパソコンでも見られるような議会のライブ中継をやってほしい。  
**議員** 以前は、学友館などで見られる中継を止めている。現在では中継している。議会で検討していく。

止めている。現在では中継している。議会で検討していく。



黒沢

**住民** 圃場整備が終わる20年も経過し、田面に高低差が出たり、畦畔が壊れたところもある。補修に補助はあるのか。

**議員** 多面的機能支交付金事業でできるものもある。

**住民** ふるさと納税を高齢者福祉にも使ってもらいたい。  
**議員** 条例で教育関係に利用するとしている。納税者にも伝えている。

**住民** 交差点の角に積まれた雪を崩してもらいたい。ロータリーの稼働を増やしてほしい。

**当局** 町では車道用ロータリー6台、歩道用ロータリー10台を使い、道路拡幅除雪や各施設の排雪をフル稼働で実施してきたが、今冬の大雪で作業に支障をきたすこともあった。春先の雪山崩し作業を実施し交差点の見通し確保に努める。



川原保



# 除雪費総額4億円超え 過去最高

## 第1回臨時会(1月16日)

1月16日、第1回臨時会を開催し、補正予算1件の審議を行い、全員賛成で原案を可決しました。一般会計補正予算は、健診業務のための新受付システム構築と豪雪に伴う10回分の除雪経費です。  
歳入歳出それぞれに4,428万6千円追加し、総額112億1,523万8千円としました。

## 第2回臨時会(2月5日)

2月5日、第2回臨時会を開催し、補正予算1件の審議を行い、全員賛成で原案を可決しました。一般会計補正予算は、高齢者支援の除雪、排雪の10回分の経費、豪雪に伴う10回分の除雪経費です。  
歳入歳出それぞれに6,989万8千円追加し、総額112億8,513万6千円としました。

### 質疑

**熊谷(良)議員** 除雪に関して、これまでに大きな事故などはあったか。

**建設課長** 電柱との接触事故が2件、電話線の切断が1件、それから落雪等による通行車両の損害事故が3件発生している。

**熊谷(良)議員** 六郷地区の消雪パイプは通常は夜間のみ稼働だが、今回は日中も散水してもらった。これによる影響はあるか。道路に割れやヒビがあり、そこから水が染み込んでしまい、雪が消えない箇所があったが、把握しているか。

**建設課長** 雪は溶けたが、地下水位が低下し生活用水が上がりにくいという声があった。舗装の割れは、随時、補修をしていきたい。



## 第3回臨時会(2月22日)

2月22日、第3回臨時会を開催し、補正予算1件の審議を行い、全員賛成で原案を可決しました。一般会計補正予算は、排雪処理のための経費です。  
歳入歳出それぞれに7,140万1千円追加し、総額113億5,653万7千円としました。

### 表彰

#### 全国町村議会議長会自治功労者表彰



泉美和子議員  
議員在職27年以上

#### ◆主な経歴

六郷町議会議員(昭和63年6月～平成16年10月)  
美郷町議会議員(平成16年11月～平成19年3月)  
美郷町議会議員(平成21年10月～)



杉澤隆一前議員  
議員在職15年以上

#### ◆主な経歴

千畑町議会議員(平成14年4月～平成16年10月)  
美郷町議会議員(平成16年11月～平成29年9月)

### 人事

#### 【美郷町教育委員会 教育長】

次の方の任命に同意  
しました。

(再任) 福田 世喜氏 (寺田)

#### 【人権擁護委員】

次の方の推薦を可決  
しました。

(再任) 藤谷 純子氏 (西高方町)

(新任) 高橋 智子氏 (扇田)

#### ご紹介ください

「毎日にぎやか みさとの大家族」と「キラリ美郷」に登場して下さる方を募集しています。

電話: 0187-84-4912  
メールアドレス: gikai@town.misato.akita.jp

## 第9回「シリーズ みさとの大家族」

今回は、高橋学さん一家を取材しました。  
4ヶ月前に生まれた澤央ちゃんと6才になる猫(ちゃら尾)を加えた、元気でにぎやかな大家族です。  
学さんは「子育てをしやすい美郷町であって欲しい」と語ってくれました。(取材 熊谷 隆二)



#### ★クイズ

【問1】 榊龍角散から頂いた寄付の額は○千万円 → 【正解】 3

【問2】 食育などに関する本を○○○冊ほど購入 → 【正解】 100

◎クイズ当選者 抽選の結果、次の方が当選しました。

坂本 禮子 様 柳原 幸子 様 高橋 悦子 様

みさと  
議会だより  
第54号  
クイズ  
正解と当選者



# シリーズ キラリ美郷 vol.50

## 楽しくおしゃべり てとての会



### ❖コーヒーサロン てとて

【開催日】第3水曜日 10時～14時  
(祝日の場合は前後の週)

【開催場所】南ふれあい館

【問合せ】美郷町保健センター(0187-84-4900)



会長は、武藤憲子さん(右から2人目)

今回は、メンタルヘルスサポーター「てとての会」を取材するため、南ふれあい館におじゃましました。エンタランスに漂うコーヒーの香り、賑やかな声が聞こえてきました。

会場の誕生は

町のこころの健康づくり事業「メンタルヘルスサポーター養成講座」を受講し、サポ-

## ? クイズ

問1 30年度の一般会計予算は  
〇〇億1389万円

問2 「住民と議会との懇談会」  
住民の参加者数は 〇〇人

○の中だけお答えください

### 応募方法

はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢を書いてお送りください。正解者の中から抽選で3人の方に粗品を差し上げます。また、議会へのご意見などもお待ちしております。

### あて先

〒019-1541 美郷町土崎字上野乙170番地10  
美郷町議会事務局 議会だより係

### 締切日

平成30年5月15日(当日消印有効)

●次回定例会は、6月上旬を予定しています。  
傍聴をお待ちしております。

どんな活動を

月1回開くコーヒーサロンでは、来てくださる方とおしゃべりを楽しんでいます。

また、対話劇(登場人物の会話だけで進んでいく朗読劇)にも取り組んでいて、様々な機会に上演しています。脚本・演出すべてが手作りです。台詞はなじみのある秋田弁のため、皆さんから喜んでいただいています。

(取材 細井)

おしゃべり

サロンに通ってくださる方の表情に笑顔が戻り、会話も弾んできた時、この会を続けてきてよかったと感じます。

ぜひ、気軽に足を運んでください。お喋りしながら楽しい時間を過ごしましょう。お待ちしております。

ターになった有志が「また集まる機会をつくって、自分たちも楽しみながら、地域のためにできることはないか」と盛り上がり、平成20年に会を立ち上げました。現在の会員は12人です。

おしゃべり

大仙市や横手市に上演に行くこともありますが、他の地域との交流も大事な活動です。

町が主催する自殺予防と心の健康に関する講座に参加して、学びを深めています。